

「いのち」を守る口腔ケア

肺炎で死亡する方の9割は
65歳以上の高齢者です。

口の中の汚れは肺炎の大きな原因の一つです。

病原菌を多く含んだ
口の中の汚れ

歯周病の原因となる歯垢の中には、細菌性肺炎の原因になる病原菌が含まれています。

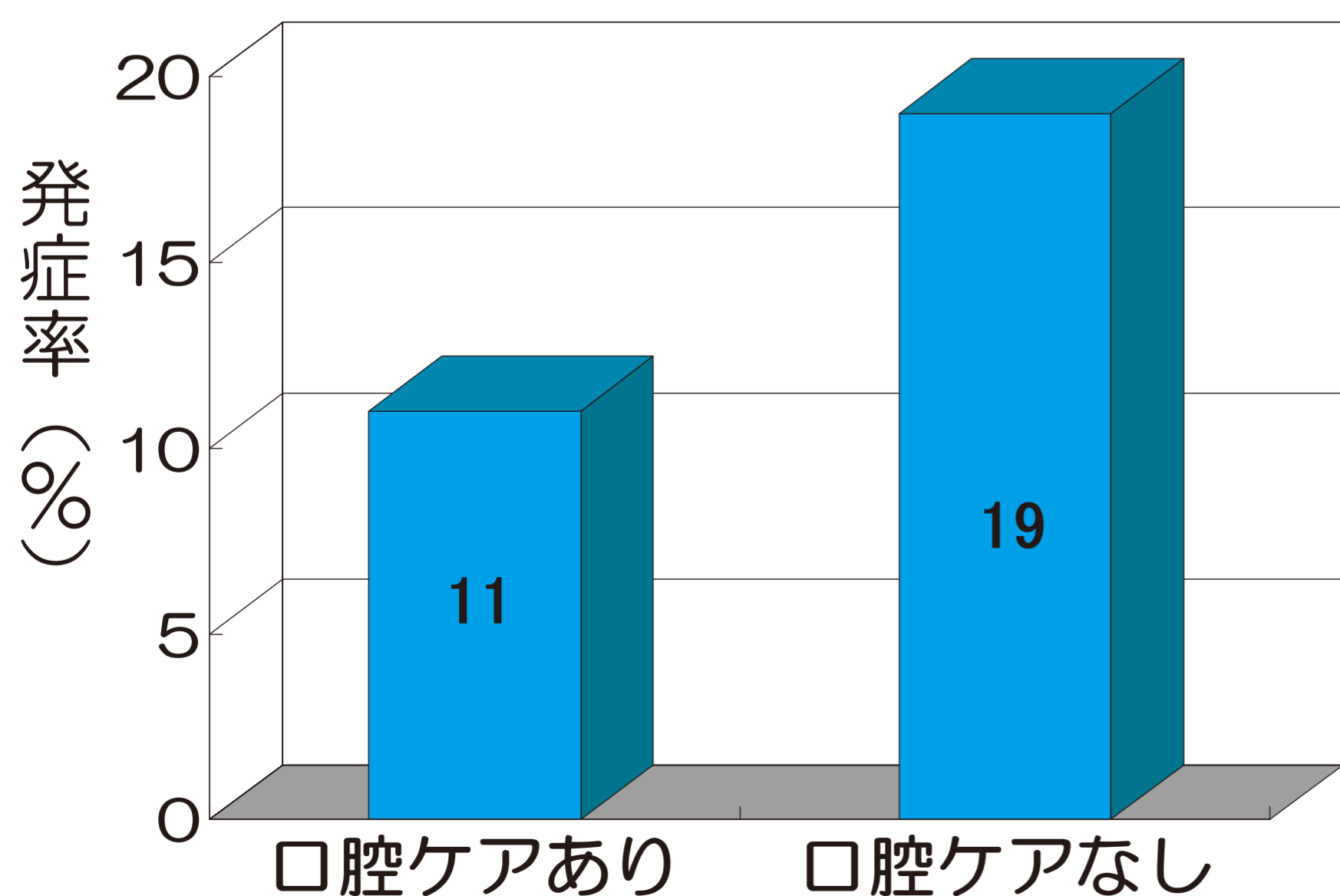
就眠中に気付かず
肺の中に吸引

呼吸器を守る喉の機能が低下した方や、異物の吸い込み時の“せき”反射がない方の危険性が高いです。

肺炎の発生

口腔ケアは効果的な肺炎の予防法の一つです。

2年間の肺炎発症率



口腔ケアにより歯と口の清潔を保つことにより、肺炎等の呼吸器疾患を効果的に予防することができます。

インフルエンザ等の感染と発症を抑制することが知られています。

施設において口腔ケアの取組を実施した場合、入所者の肺炎の発症率が約半分に抑えられることが示されています。

(米山ら)